

小美玉市消防本部からのお知らせ

株式会社コロナが製造した

石油ストーブ（開放式）の一部製品におけるリコールについて

2000年製以前の古いストーブの「よごれま栓タンク」の一部において、長期間の使用による給油口の変形などの要因により、給油口がロックされたと使用者が誤認する「半ロック状態」になる事象が発生する可能性があり、確実にロックするまで押さず、ロックの確認をおこなわなかった場合、給油口がロックされたと誤認し、取扱い中 不意に給油口が開き、油がこぼれるなど、火災に至るおそれがあります。

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者の行う**無償点検・修理**を受けていない方は、**速やかに下記問合せ先まで御連絡**ください。

対象製品：対象製品名、機種・型式、製造期間

- ・対象製品名：コロナ石油ストーブ等に付属の給油タンク（よごれま栓タンク）
- ・機種・型式：2000年（平成12年）以前に製造されたコロナ石油ストーブ等で、次の表に示す型式に該当するもの
- ・製造期間：1987年～2000年

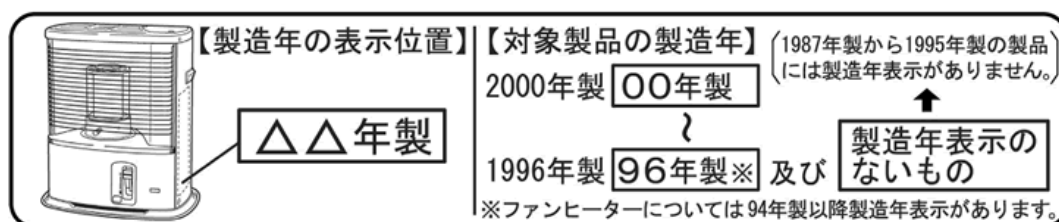
石油ストーブ(反射型)

製造年(西暦)	型 式			
1987	SX-1800DX	SX-2200DX		
1988	SX-1800	SX-2200	SX-1800DXA	SX-2200DXA
1989	SX-1810	SX-2210	SX-3000	
1990	SX-1820	SX-2220	SX-3020	
1991	SX-1840	SX-2240	SX-3040	
1992	SX-1850	SX-2250	SX-2250X	SX-3050
1993	SX-1860	SX-2260	SX-3060	
1994	SX-1870	SX-2270	SX-3060	
1995	SX-1880Y	SX-2280Y	SX-3080Y	
1996	SX-1800Y	SX-2200Y	SX-3080Y	NX-22Y
	RX-D18Y			
1997	SX-B21Y	SX-B26Y	SX-B35Y	SX-B27WY
	NX-26Y	RX-B21Y	RX-B26Y	
1998	SX-C210Y	SX-C260Y	NX-26Y	
1999	SX-D27WY			
2000	SX-E210Y	SX-E260Y	SX-E21Y	SX-E26Y
	SX-B35YA	SX-D27WYA	NX-26YA	KM-D27WY

石油ファンヒーター

製造年(西暦)	型 式			
1993	FH-3360AYL			
1994	FH-2570Y	FH-3270Y	FH-3370AYL	GT-2570Y
	GT-3270Y	FK-F250	FK-F320	KH-A25Y
1995	KH-A32Y	KH-3207Y		
	FH-2580Y	FH-3280Y	FH-5580Y	FH-2580AY
	FH-3380AY	NH-2580Y	NH-3280Y	GT-2580Y
	GT-3280Y	KH-B25Y	KH-B32Y	FK-G250
1996	FK-G320	AH-3280Y		
	FH-A30Y	FH-A37Y	FH-A47Y	FH-A60Y
	FH-A30AY	FH-A37AY	NH-A30Y	NH-A37Y
	GT-A30Y	GT-A37Y	GT-A30YJ	KH-A30WS
	KH-A37WS	KH-C30Y	KH-C37Y	FK-H30
	FK-H37			
1997	FH-B30AY	FH-B37AY	FH-B30BY	FH-B40BY
	FH-B50BY	FH-B62Y	NH-B30BY	NH-B40BY
	GT-B30BY	GT-B40BY	KH-B30WS	KH-B40WS
	KH-D30BY	KH-D40BY	FK-J30	FK-J40
1998	FH-C320BY	FH-C430BY	FH-C530BY	GT-C30Y
	GT-C32BY	GT-C53BY	FK-K32	FK-K53
	KCF-A300			
1999	FH-D320BY	FH-D430BY	FH-D530BY	FH-MD30Y
	GT-D30Y	GT-D32BY	GT-D43BY	GT-D53BY
	GT-EG30Y	GT-KS30Y	FK-L30	FK-L32
	FK-L43	FK-L53		
2000	FH-E62Y	FH-EX32BY	FH-EX43BY	FH-EX53BY
	FH-ES32BY	GT-E30Y	KM-30Y	KS-E30Y
	FK-M30	FK-M32	FK-M43	FK-M53
	FJ-V30Y			

<対象製品の確認方法>



消費者への注意喚起

製造者による点検・修理を受けられるまでの間は、次の図に従って、給油口蓋が確実にロックしていることを御確認ください。

当該製品に限らず、石油ストーブ等に給油する際には、石油ストーブ等を必ず消火した上で、給油タンクの蓋を確実に締め、蓋が締まっていることを確認して、石油ストーブ等に戻すよう、正しい給油方法に従って安全に給油を行ってください。

【問合せ先】

株式会社コロナお客様相談窓口

電話番号：0120-623-238

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・年末年始及び同社休業日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.corona.co.jp/report/oshirase.html>

警告

給油時消火

危険

ガソリン厳禁

●給油は、必ず消火し、火が消えたことを確かめてからおこなってください。火災のおそれがあります。



必ず灯油をご使用ください

●ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

警告

油もれ危険

●給油後、給油タンクの給油口を確実にロックし、開かないことを確認してください。

●給油後は、給油口を下にして油もれないことを確認してからストーブにセットしてください。

①確実にロック

「パチン」と音が**強く押す**するまで強く押す

②ロックの確認

持ち上げて確認

給油口をしめたあと、給油口先端を指で持ち上げ、開かないことを確認してください。

③油もれの確認